

**宿題たしかめ表**

11月4日～11月10日

お家の人のサイン		今 週 の 宿 題
	1	音読 下 P53～P62
	2	漢字学習ノート 下 P21～P23
	3	漢字書きテストの練習⑩
	4	漢字読みテストの練習⑨
	5	たしかめプリント1枚・予習プリント2枚・単元プリント1枚
	6	「伝統工芸のよさを伝えよう」リーフレット文タイプ→メールに添付
	7	新出漢字 ^{二十一} （利笑省残周）
	8	クロスワードことわざ慣用句②⑩
	9	短作文「今週の慣用句③」
	10	11月の一言日記を続ける。
	11	ウェブサイトを見て「WA になっておどろう」を歌う。
	12	毎日の出来事を家の人と日本語で話し合う。

**音読カード きのうちより上手に読めたかな**

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだところ（伝統工芸のよさを伝えよう・慣用句・短歌俳句に親しもう二・漢字の広場⑤）							
よむめあて	金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容がわかる							
お家の人のサイン							

漢字書きテスト練習

20

梓組

① 気持ちがつたわる言葉。

② 植物にかんする研究。

③ 図書館で本をかりる。

④ 着物の帯をむすぶ。

⑤ 慣用句のれいぶんを作る。

⑥ 二人はとてもなかが良い。

⑦ コップのそこをあらう。

⑧ あさい川で魚をつる。

⑨ フライパンで肉をやく。

⑩ 空がこんじきにかがやく。

伝わる

関する

借りる

結ぶ

例文

仲

底

浅い

焼く

金色

する

する

漢字読みテスト練習

19

梓組

* 漢字の読みの練習をしましょう。正しく読めたかどうかたしかめながら、何度も読んでみましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
有名な絵画を見る。	さとうの分量。	孫が生まれる。	白い便せん。	書類を保管する。	博物館に行く。	百さつ以上の本。	工場の機械。	無形文化遺産。	日本の伝統工芸。
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙
和紙の風合い。	手芸を楽しむ。	無い物ねだり。	器械体操 <small>きそく</small> をする。	水泳以外の運動。	名声を博する。	細いゴムの管。	便りがとどく。	子孫をこのす。	米の重さを量る。

宿題 たしかめプリント

梓組

1

□に当てはまる漢字を書きましょう。

(1) 助けを □ か
りる。

(2) □ なか
がよい兄弟。

(3) 海の □ そこ
にもぐる。

(4) きずが □ あさ
い。

(5) さんまを □ や
く。

(6) □ こんじき
にかがやく雲。

2

次の慣用句の()に当てはまる体の部分をア～エから選んで、記号で答えましょう。

(1) () をかりる。 意味 手伝ってもらう。

(2) () がすべる。 意味 うっかり話してしまう。

(3) () にかける。 意味 じまんする。

(4) () をひねる。 意味 分からなくて考える。

ア ロ イ 首 ウ 手 エ 鼻

3

()に当てはまる言葉をア～ウから選んで、記号で答えましょう。

(1) 大切にしていた物だが、() 友人にあげた。

(2) 入学式の時、校長先生の話() 聞いた。

(3) いつも姉はやんちゃな弟の() いた。

ア 世話をやいて イ なみだをのんで

ウ えりを正して

宿題 予習 プリント

梓組

1 ————— の漢字の読みがなを書きましょう。

- (1) 本を借りる。 (2) 仲を取りもつ。 (3) 底がぬける。
 (4) 水深が浅い。 (5) 世話を焼く。 (6) 中尊寺金色堂

2 ————— 次の漢字の総画数を、数字で書きましょう。

- (1) 底 (2) 焼

3 ————— 次の短歌の意味をア～ウから選んで、記号で答えましょう。

- (1) 晴れし空仰げばいつも
口笛を吹きたくなりて
吹きてあそびき
石川啄木
- (2) 金色のちひさき鳥のかたちして銀杏ちるなり夕日の岡に
与謝野晶子
- (3) ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なる一ひらの雲
佐佐木信綱

ア 秋も終わりのころの大和の国にある薬師寺の塔を見上げると、すんだ空に一片の雲がうかんでいる。

イ 夕日の差す岡の上に、金色にかがやく鳥のような形をして、銀杏の葉が散っている。

ウ 晴れた空を見上げると、いつも口笛を吹きたくなって、口笛を吹いて遊んでいた。

宿題予習プリント

梓組

1

の漢字の読みがなを書きましょう。

(1) ごみを拾う。

(2) 美化に努める。

(3) 遊具で遊ぶ。

(4) 写真をとる。

(5) 木に登る。

(6) 寒い冬が来る。

(7) 二月は短い。

(8) 信号が変わる。

(9) 広い道路。

(10) お客様をよぶ。

(11) 一丁目の交番。

(12) 自分の住所。

(13) 手帳に書く。

(14) 二階に上がる。

(15) 洋服をたたむ。

(16) 家で勉強する。

(17) 漢字を書く。

(18) お湯をわかす。

(19) 火を消す。

(20) 両親とくらす。

(21) 本の整理。

(22) 家の屋根。

(23) バスの車庫。

(24) 家の太い柱。

(25) 身長をはかる。



伝統工芸のよさを伝えよう

きょうかしよ
教科書

下

53～57ページを読んで
答えましょう。

(1) 調べたい伝統工芸を決めよう。

①「博多おり」はこの伝統工芸品ですか。
都道府県名を書きましよう。

②あなたがきょうみのある伝統工芸は、
どこ何ですか。

(2) くわしく調べて、整理しよう。

次は、「博多おり」のよさについてまとめた例です。
にあってはまる言葉を
らんで記号で書きましよう。

〈博多おりのみりょく〉

着物の帯
ゆるみにくい
ほどきやすい

約 780 年続く
けんじょう品

先にもようを決め、
そめる

ア 使いやすさ イ れきし ウ 美しさ
エ じょうぶ オ きかがくもよう

(3) 組み立てと資料の使い方を考えよう。

初め・中・終わりの組み立てにします。
つぎの文で正しいものに○、まちがっているもの
に×をしましよう。

- () 博多おりの説明を初めに書く。
- () 初めに、まとめを書く。
- () みりょく(1)(2)をじゅんに、中に書く。
- () それぞれのみりょくの説明文の上に
写真を使う。
- () 写真はまとめて、終わりに使う。
- () 説明と、写真が一致するように、
番号をつける。

(4) 参考にした本などは、出典としてどこにまとめる
のがよいでしょうか。一つ○をしましよう。

- () 文章の初め
- () 文章の中
- () 文章の終わり

(5) 表紙とうら表紙について、ふさわしい内容の記号
を
の中からえらんで
に書きましよう。

表紙 ……

うら表紙 ……

- ア 伝統工芸の写真や絵
- イ 伝統工芸をしようかいする
しせつのじょうほう
- ウ 伝統工芸の名前

名前

梓組 新出漢字 二十一

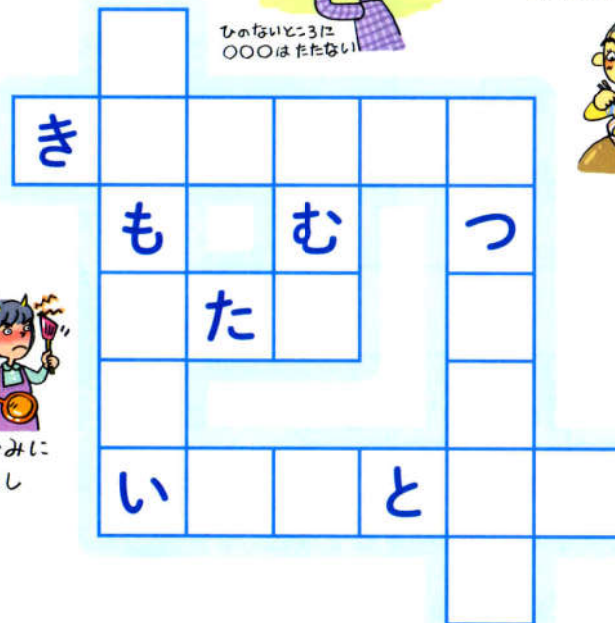
<div>部首</div> <div></div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div>周</div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div>残</div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div>省</div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div>笑</div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>部首</div> <div>利</div> <div>画</div> <div>読み方</div> <div>訓 音</div> <div></div>	<div>名前</div>
--	---	---	---	---	---	---------------

29 「ない」「なし」がつくことわざ・慣用句①

□に入る言葉を 〇〇〇の中からえらんで当てはめよう。

きがおけない、たたり、けむり、
みがもたない、いうことなし、いつわりなし

(ことわざ・慣用句の一部分の言葉もあります。)

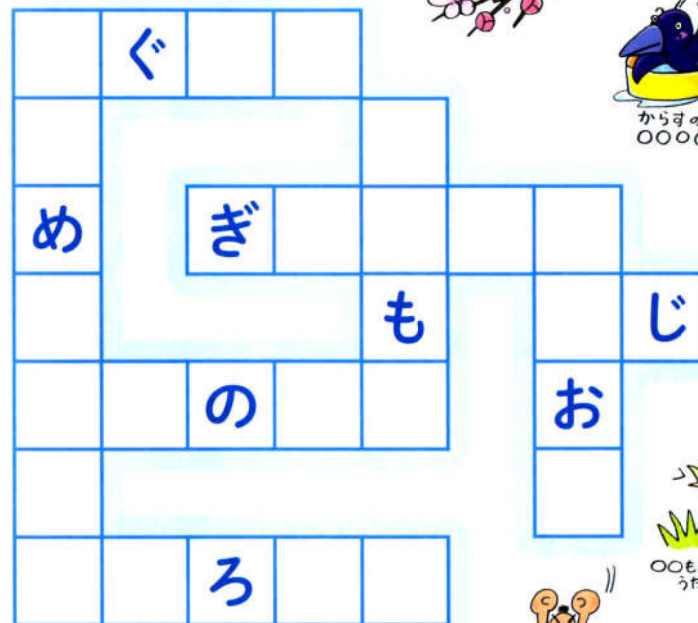
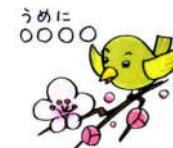


30 鳥のことわざ・慣用句

□に入る言葉を 〇〇〇の中からえらんで当てはめよう。

きじ、いきおい、うのめたかのめ、うぐいす、
ぎょうずい、こうもり、かごのとり、めじろおし

(ことわざ・慣用句の一部分の言葉もあります。)



今週の慣用句二十三日 十一月四日〜

梓組 名前

今度は「植物」かんけいに関する慣用句の続きです。

意味を知って使えるようにしましょう。

花を持たせる

意味―わざと負けてやったり、手がらを相手にゆずってやったりする。

根に持つ

意味—うらみに思って、いつまでもわすれない。

道草を食う

意味―横道にそれて手間取る。とちゅうでむだな時間をついやす。
（馬が道ばたの草を食べて進行がおそくなることから）

実を結ぶ

意味—努力しただけ、十分な結果がえられる。実になる。

芽が出る

意味―木や草がめばえる。仕事や働
きが、世間にみとめられはじ
める。

最近の出来事

上の慣用語を一つ以上使って、最近の出来事を短い作文にしてみました。（主語・述語を明確に）

自分の経験でも聞いた話でもいいですよ。

使い方がよく分からない時は、国語辞典で調べ、例文を参考に考えてみましょう。



題